

VII. 「教科又は教職に関する科目」の本学での授業科目及び履修方法

教員免許法施行規則には「教科又は教職に関する科目」の区分があります。

この区分の最低必要単位数は、本学では小学校 6 単位、中学校 8 単位（保健体育は 4 単位）、高等学校 16 単位（保健体育は 6 単位）、幼稚園 10 単位（子ども支援学科生は 8 単位）です。本学では、この区分の科目として「児童英語基礎指導論」「外国語活動指導法」「ボランティアと社会参加」を開講しています。「ボランティアと社会参加」は、小・中学校教員免許状を取得する場合は**必修科目**、高等学校教員免許状のみを取得する場合は**選択科目**として位置付けられています。

それ以外は、「教科に関する科目」と「教職に関する科目」の分野で最低修得単位数を超えて修得した単位数を「教科又は教職に関する科目」に算入して充当します。

教育職員免許法 施行規則に 定める科目区分	本学における 最低必要単位数		左記に対応する本学の開設授業科目					
	免許の種類及び教科	単位	授業科目	開講	開講 学年	単位	履修 方法等	
教科又は教職に 関する科目	小学校	6 ^{※1}	児童英語基礎指導論 ^{※2}	半期	1	2		
			外国語活動指導法 ^{※3}	半期	2	2		
			ボランティアと社会参加 ^{※4}	半期	1	2	必修	
	中学校	保健体育	4 ^{※5}	ボランティアと社会参加 ^{※4}	半期	1	2	必修
		保健体育以外	8					
	高等学校	保健体育	6 ^{※6}	ボランティアと社会参加 ^{※4}	半期	1	2	
		保健体育以外	16					
	幼稚園（初等教育学科） ^{※7}	10	ボランティアと社会参加 ^{※4}	半期	1	2		
	幼稚園 （子ども支援学科） ^{※8}	8	ボランティアと社会参加 ^{※4}	半期	1	2		
			学校・学級経営論	半期	2・3	2		
授業アセスメント論 ^{※8}			半期	3	2			

※1 小学校については、「教職に関する科目」の余剰分（4 単位）を差し引いた単位数

※2 初等教育学科の学生のみ履修可（専門教育科目の必修科目）

※3 初等教育学科の学生のみ履修可（専門教育科目の選択科目）

※4 「ボランティアと社会参加」を前年度までに修得していないと、翌年の介護等体験に参加することはできません。小・中学校教員免許状取得希望者は、介護等体験を行う前年度までに修得すること。介護等体験の詳細については、次ページを参照してください。

※5 保健体育については、「教職に関する科目」の余剰分（4 単位）を差し引いた単位数

※6 基礎免許で保健体育を取得する場合には、「教職に関する科目」の余剰分（10 単位）を差し引いた単位数。ただし、異なる学校種の副免許で取得する場合は、8 単位が本学における必要単位数となるので P63 参照のこと

※7 幼稚園については、（ ）内以示されている所属学科を参照のこと

※8 「授業アセスメント論」は、卒業に要する単位数に算入されません。

【教科又は教職に関する科目の充当方法】^{※1}

小学校 ①+②+③+⑤ = 6 単位以上

- ①「児童英語基礎指導論」「外国語活動指導法」（各 2 単位）
- ②「ボランティアと社会参加」（2 単位）
- ③「教職に関する科目」のうちの選択科目の修得単位数
- ⑤「教科に関する科目」で、8 単位を超えて修得した単位数

中学校 ②+③+⑤ = 8 単位以上（保健体育は 4 単位以上）

- ②「ボランティアと社会参加」（2 単位）
- ③「教職に関する科目」のうちの選択科目の修得単位数
- ⑤「教科に関する科目」（免許教科ごとに定められたもの）で、20 単位を超えて修得した単位数

高等学校 ②+③+④+⑤ = 16 単位以上（保健体育は 6 単位以上※2）

- ②「ボランティアと社会参加」（2 単位）
- ③「教職に関する科目」のうちの選択科目の修得単位数
- ④「道徳教育の理論と方法」を取得した場合
- ⑤「教科に関する科目」（免許教科ごとに定められたもの）で、20 単位を超えて修得した単位数

幼稚園 ②+③+⑤ = 10 単位以上（初等教育学科）、8 単位以上（子ども支援学科）

- ②「ボランティアと社会参加」（2 単位）
- ③「教職に関する科目」のうちの選択科目の修得単位数
- ⑤「教科に関する科目」（免許教科ごとに定められたもの）で、6 単位を超えて修得した単位数

※1 各免許課程とも、必ずしも①～⑤すべての分野から充当する必要はありません。

※2 基礎免許で保健体育を取得する場合については、「教職に関する科目」の余剰分（10 単位）を差し引いた単位数。ただし、異なる学校種の副免許で取得する場合は、8 単位が本学における必要単位数となるので P63 参照のこと